



## アカウンティング ID リスト

- ・アカウンティング ID リストの設定 (GUI) (1 ページ)
- ・アカウンティング ID リストの設定 (CLI) (1 ページ)
- ・クライアントアカウンティングの設定 (GUI) (2 ページ)
- ・クライアントアカウンティングの設定 (CLI) (3 ページ)

### アカウンティング ID リストの設定 (GUI)

#### 手順

ステップ1 [Configuration] > [Security] > [AAA] の順に選択します。

ステップ2 [Accounting] セクションで、[Add] をクリックします。

ステップ3 表示される [Quick Setup: AAA Accounting] ウィンドウに、メソッドリストの名前を入力します。

ステップ4 [Type] ドロップダウンリストで、認証タイプとして ID を選択します。

ステップ5 [Available Server Groups] リストで、ネットワークへのアクセスの認証に使用するサーバグループを選択し、[>] アイコンをクリックして [Assigned Server Groups] リストに移動します。

ステップ6 [Save & Apply to Device] をクリックします。

### アカウンティング ID リストの設定 (CLI)

アカウンティングは、ユーザの操作をロギングしてユーザのネットワーク使用状況を追跡するプロセスです。ユーザによる操作が正常に実行されるとそのたびに、RADIUS アカウンティングサーバでは、変更された属性、変更を行ったユーザのユーザ ID、ユーザがログインしたリモートホスト、コマンドが実行された日付と時刻、ユーザの認可レベル、および実行された処理と入力された値の説明が、ログに記録されます。

アカウンティング ID リストを設定するには、次の手順に従います。

## 始める前に

RADIUS サーバと AAA サーバ グループを設定します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>aaa accounting identity named-list</b> <b>start-stop group server-group-name</b> <b>例 :</b> <pre>Device(config)# aaa accounting identity user1 start-stop group aaa-test</pre>	アカウンティングを有効にして、クライアントが承認されたときに start-record アカウンティング通知を送信し、最後に stop-record を送信できるようにします。 (注) 名前付きリストの代わりにデフォルトのリストを使用することもできます。

クライアント属性が変更された場合（たとえば、IP アドレスの変更、クライアントのローミングなど）はそのたびに、アカウンティングの中間アップデートが RADIUS サーバに送信されます。

## クライアントアカウンティングの設定 (GUI)

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	[Configuration] > [Security] > [AAA] の順にクリックします。	
ステップ2	[AAA Method List] > [Accounting] をクリックし、[Add] をクリックします。	
ステップ3	表示される [Quick Setup: AAA Accounting] ウィンドウに、メソッドリストの名前を入力します。	
ステップ4	ネットワークへのアクセスを許可する前に実行するアカウンティングのタイプを [Type] ドロップダウンリストから選択します。	
ステップ5	[Type] ドロップダウンリストから、サーバのグループをアクセス サーバとして割り当てるか、またはローカル サーバを使用してアクセスを許可するかを選択します。	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	[Available Server Groups] リストで、ネットワークへのアクセスの追跡に使用するサーバグループを選択し、クリックして [Assigned Server Groups] リストに移動します。	
ステップ 7	[Save & Apply to Device] をクリックします。	

## クライアントアカウンティングの設定 (CLI)

クライアントアカウンティングを設定するには、次の手順に従います。

### 始める前に

RADIUSアカウンティングが設定されていることを確認します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>wlan profile-name wlan-identifier ssid</b> 例： Device(config)# wlan user1_dot1x 2 user1_network	WLANを作成します。 (注) ここではdot1x WLANを例として使用します。RADIUSサーバが設定されていれば、他のセキュリティ方式に対してもアカウンティングを有効にすることができます。
ステップ 2	<b>security dot1x authentication-list auth-list-name</b> 例： Device(config)# security dot1x authentication-list user1-ext	dot1xセキュリティ用のセキュリティ認証リストを有効にします。
ステップ 3	<b>no shutdown</b> 例： Device(config)# no shutdown	WLANをイネーブルにします。

